

令和4年度学校評価アンケート結果考察

- ・ **回答** : 保護者105人 生徒107人
 - ・ **質問項目** : 保護者36項目 生徒34項目
- A よくあてはまる B ややあてはまる
- C あまりあてはまらない D まったくあてはまらない
- E わからない
- により実施

<保護者>

◆全体の結果

- ・ AB評価の割合9割にせまっております
過去3年間をみても割合は上昇傾向
- ・ CD評価の割合が極めて低いことに変化はない

	A	B	C	D	E	AB割合	CD割合
R4	48%	39%	4%	0%	9%	87%	4%
R3	46%	38%	3%	0%	13%	84%	3%
R2	49%	35%	3%	0%	9%	83%	4%
R元	45%	36%	4%	1%	11%	81%	5%

◆成果

①情報発信について高い評価を得ている

- ・【項目11】「すぐメールの活用」は、A評価が71%と全項目の中で最も高い
- ・【項目9】「ホームページによる情報発信」も高評価（AB評価が92%）
- ・【項目32】「地域への広報活動」もA評価（42%）、AB評価（83%）ともに向上

②コロナ対策・生徒の安全最優先の学校計画が評価されている

- ・【項目7】AB評価が98%と全項目の中で最も高い（昨年度も97%）
- ・【項目28】AB評価が90%と高い評価（CD評価が1%）

③進路に関する指導で高評価を得ている

- ・【項目25】「生徒の進路希望に沿ったアドバイス」についてAB評価92%（昨年度82%）
- ・【項目24】「進路に関する情報提供」もA評価（51%）、AB評価（89%）が上昇

④生徒が喜んで学校に行っている割合が高い

- ・【項目3】「子どもは喜んで学校に行っている」AB評価が91%（昨年度87%）

◆課題

①「子どもが喜んで学校に行っている」と感じない保護者の存在

- ・【項目3】CD割合が9%と高い（ワースト2位、クラスに1～2名）
※全項目の中で唯一、E評価（わからない）が0%（保護者の方は生徒をよくみている）

②学校からの連絡文書が届いていない

- ・【項目6】CD割合が11%（ワースト）と高い

③教職員の働き方改革への理解が低い

- ・【項目18】AB評価（70%）、A評価（38%）ともに全項目の中でワースト
→「分からない」も3割と突出して高く、取り組みの内容が伝わっていない

<生徒>

◆全体の結果

- ・AB評価は若干減少したが86%と高水準を維持
- ・過去3年間をみるとA評価、AB評価、ともに改善傾向にある
- ・CD評価の割合も改善傾向で良好といえる

	A	B	C	D	E	AB割合	CD割合
R4	56%	31%	6%	1%	7%	86%	6%
R3	59%	31%	5%	1%	4%	90%	6%
R2	45%	34%	8%	1%	10%	79%	10%
R元	30%	44%	10%	2%	14%	74%	12%

◆成果

①教員の熱心な指導に満足している生徒が多い

- ・【項目18】「モラルやマナーへの指導」AB評価が94%と全項目の中で最も割合が高い
- ・【項目7】「熱心な学習指導・生徒指導」AB評価が93%と全項目の中で2番目に割合が高い

②本校に入学できて良かったと思う生徒が多い

- ・【項目2】AB評価が92%（A評価も69%で全項目の中で3位の高水準）

◆課題

①以下の3つの項目で、AB評価が80%を下回った

- ・【項目27】活発な生徒会活動
(※ワースト、A評価もワースト、E評価も高い → 近年の傾向、コロナの収束に期待)
- ・【項目13】教職員の働き方改革（全項目中ワースト2位の71%）
(※E評価が23%と突出して高い、勤労に関する教育の一環として周知が必要か)
- ・【項目5】家庭で学校の話をする（全項目中ワースト3位の77%）

②以下の3つの項目で、D評価が高くでた

- ・【項目32】地域行事や清掃活動に参加（4%）（昨年度までの0%から上昇）
- ・【項目5】家庭で学校の話をする（3%）（CDの割合22%でワースト）